

## Lesson

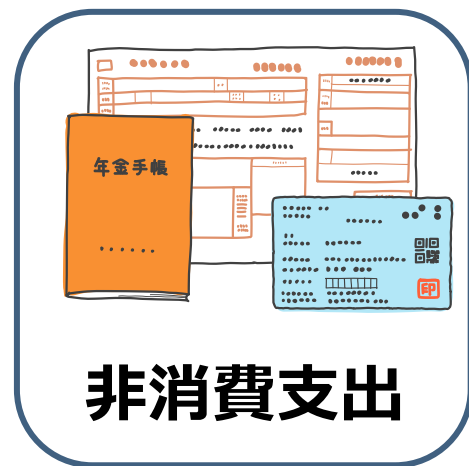
**マネープランシートを作成しながら  
収入と支出、家計の管理方法を学ぼう！**



# 収入と支出



−



=

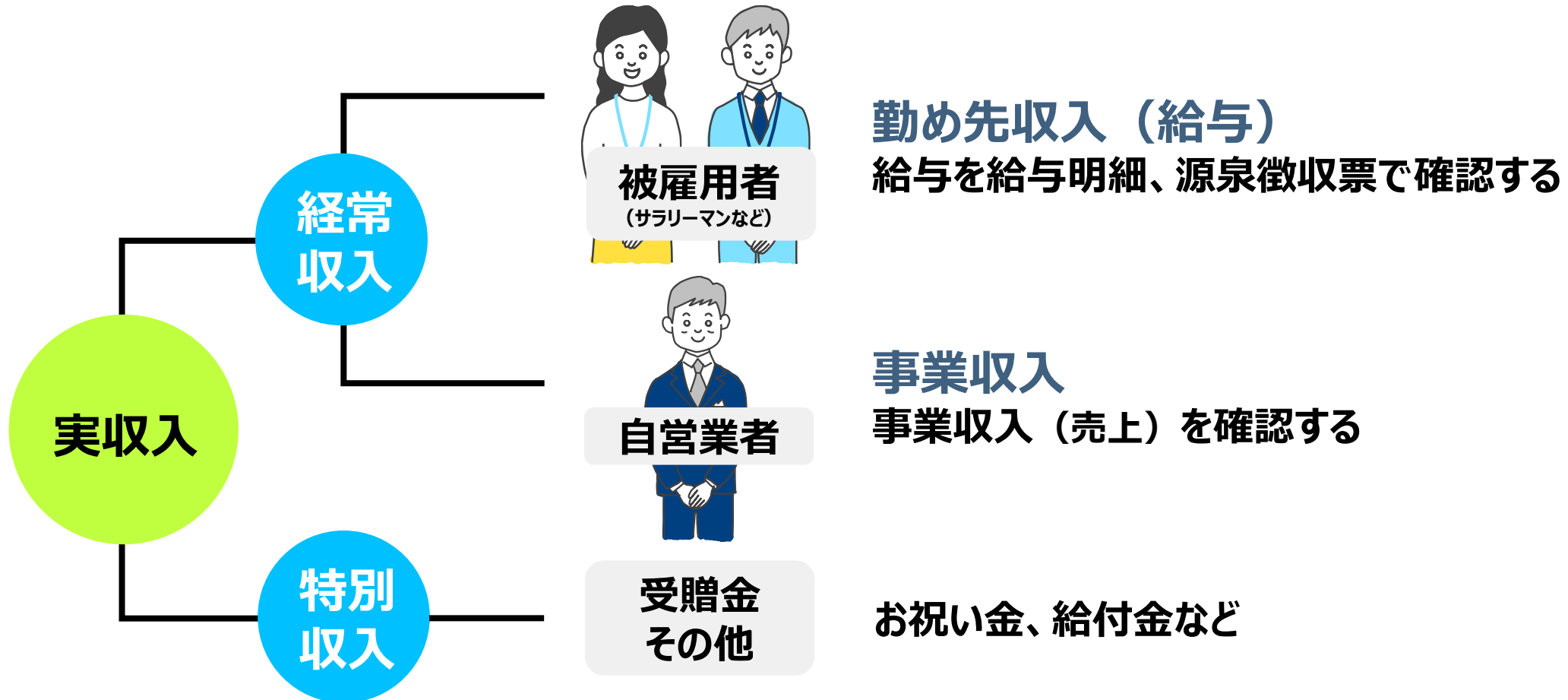


+



# 1. 収入をつかむ

実収入を年額で確認しよう！働き方によって方法が違う



## 2. 非消費支出を確認し、手取り収入をつかむ

収入は全て自分で自由に使えるわけではない



### 世帯の自由にならない支出

#### 税金（所得税・他）

所得税（所得に応じた税率）、住民税

#### 社会保険料など

年金、健康保険、雇用保険、介護保険（40歳以降）

20代の正社員の場合は、収入の23%程度が非消費支出である

# 3. 貯蓄・投資額を決める

着実に貯めるには、収入のうち決めた額をまず確保し、残りを消費に充てる

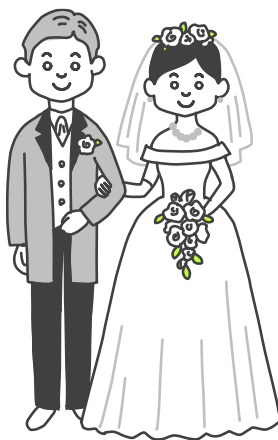
短期  
資金



1～2年の間に予定する  
大型支出の備えなど

生活リスクへの備え（病気・災害など）  
旅行・レジャーなど

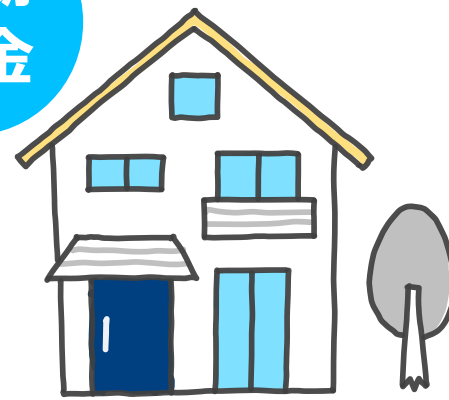
中期  
資金



10年以内で出費が  
見込まれる大型支出に備える

結婚・出産、引っ越し、  
自動車購入など

長期  
資金



専用の口座を設けると  
着実に貯めることができる

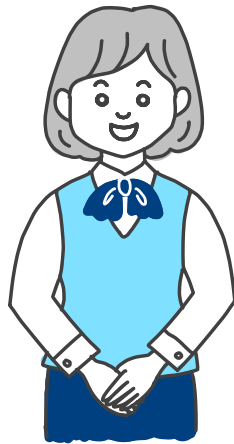
生涯の三大支出といわれる、  
教育資金、住宅資金、老後資金

お金を貯める、  
増やすために利用する

# 金融商品の特征について

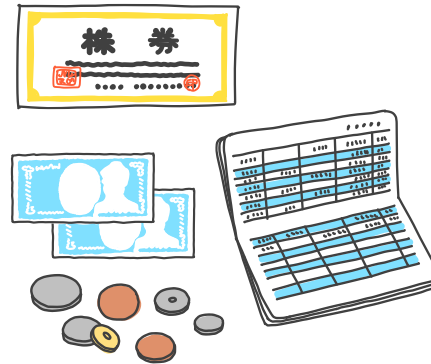
多様な金融商品の特征を**安全性・収益性・流動性**の3つの側面から考える

安全性



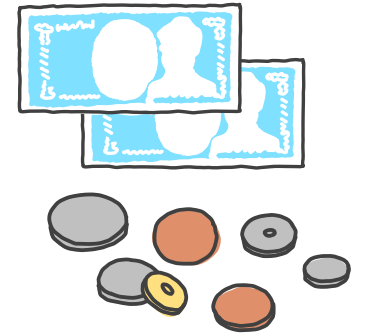
元本の保証の度合い

収益性



利回りのよさ

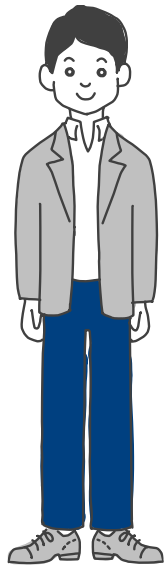
流動性



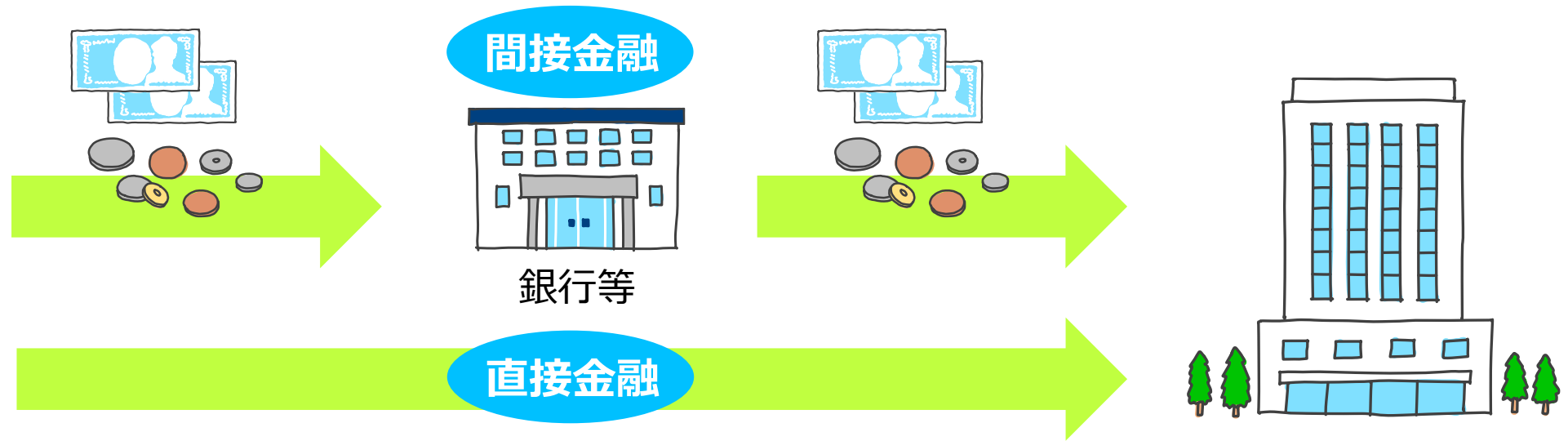
現金化のしやすさ

金融商品の選択に当たっては、目的や期間に合わせて安全性の高い方法で着実に貯える資産と、長期的な視点で運用してもよい資産との割合を見直しながら金融商品を選択し、家計資産を形成していこう

# 間接金融（貯蓄）と直接金融（投資）

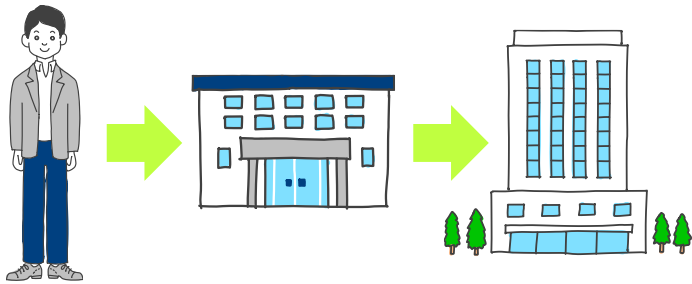


投資する側



投資される側

投資する側と投資される側との間に  
第三者が入るものを間接金融、入らないものを直接金融という



## 間接金融

### 普通預金

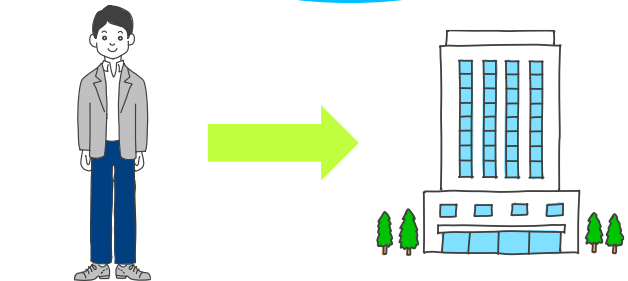
金融機関の普通預金口座に預ける  
いつでも引き出せる

### 定期預金

満期日までの預入を条件に  
普通預金以上の金利が付く

### 外貨預金

外国の通貨で預金する  
為替相場によっては日本円で元本割れする



## 直接金融

### 債券

借入のためにあらかじめ利率や満期日を  
約束して発行される  
公債（国債、地方債など）や社債などがある

### 株式

株式会社の資金集めのため発行される  
株主は、株主総会の参加や、保有数に応じて  
議決権の行使なども可能



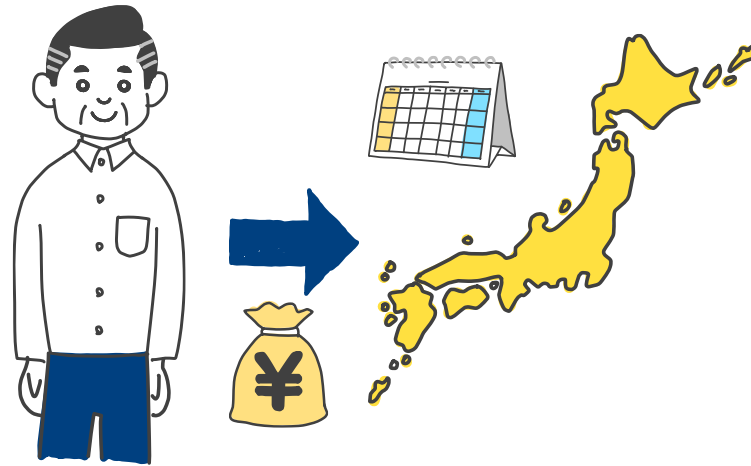
# 投資をする金融商品

## 株式



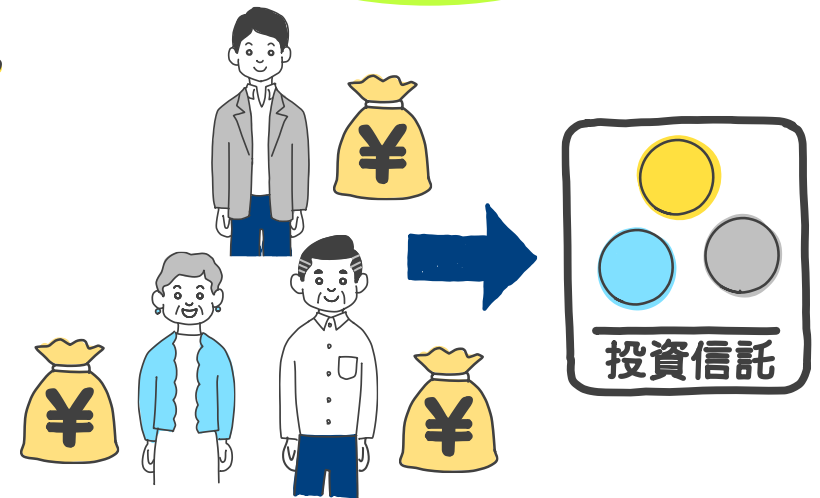
企業の成長に  
応じた利益を目指す

## 債券



決められた年数お金を  
貸すことで利益を得る

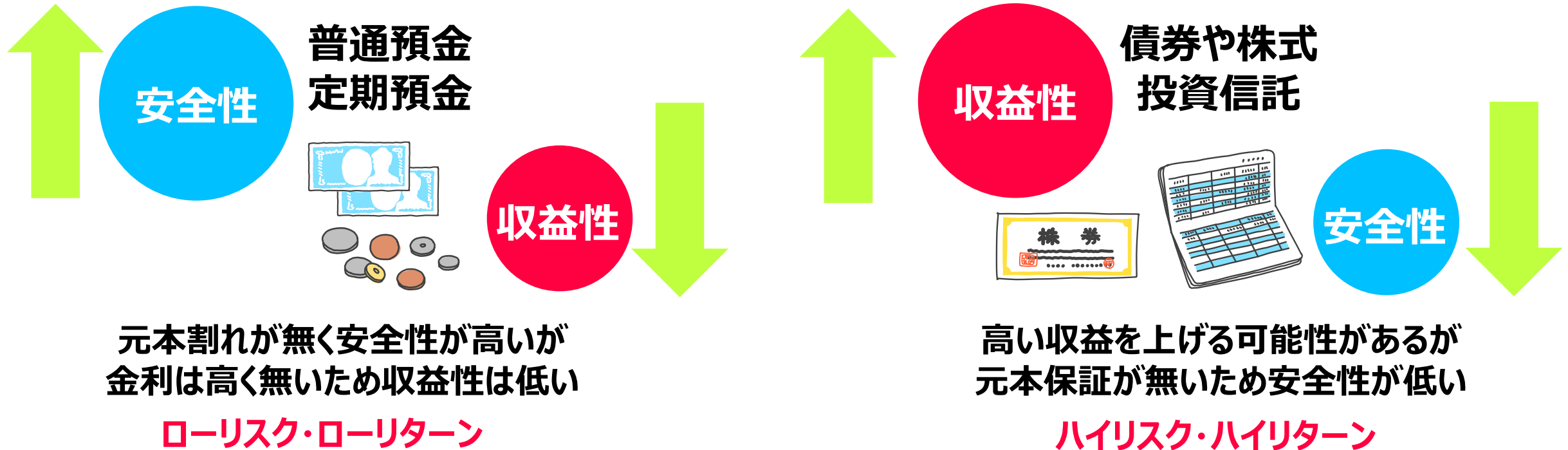
## 投資信託



お金を出し合って  
専門家の運用による  
利益を目指す

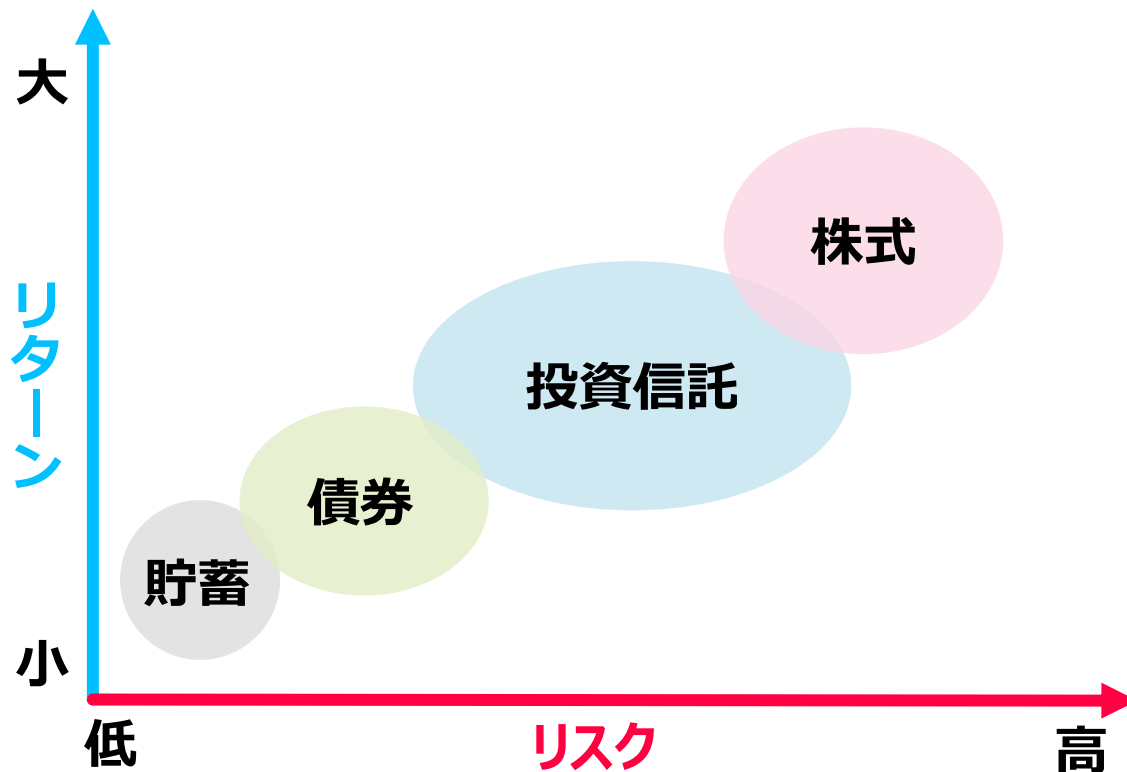
# 金融商品で注意すること

安全性と収益性が両立する金融商品はない。  
専門家でも経済の先行きは見通せないので、安易なもうけ話に応じないこと。



# リターンとリスク

リスクとは、投資した元のお金（元金）が増えたり減ったりする可能性の振れ幅のこと  
リターンとは、投資したお金が増えたり減ったりして得られる成果（収益）のこと

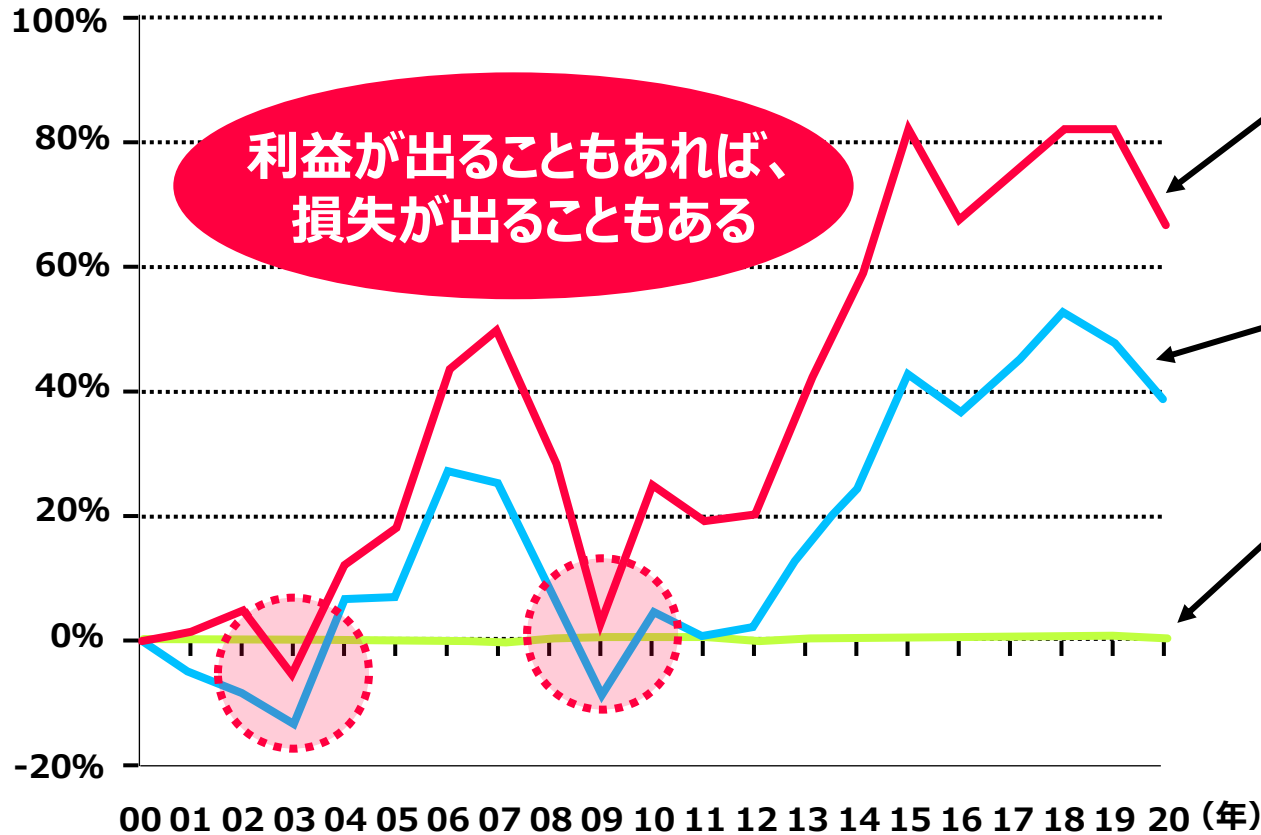


金融商品ごとの  
リターンとリスクについて  
確認しましょう



# 長期・積立・分散投資（シミュレーション）

基準時点からの累積リターン



- C : 国内・先進国・新興国の株・債券に1/6ずつ投資  
66.63% (年平均リターン 2.59%)
- B : 国内の株・債券に半分ずつ投資  
38.57% (年平均リターン : 1.64%)
- A : 定期預金  
0.97% (年平均リターン : 0.05%)

安定した利益を得ることができるが、高い利益は望めない

(注) 期間 : 2000年4月~2020年3月 各計数は、毎年同額を投資した場合の累積リターン 運用費用は含まない  
 日本株式 : 東証株価指数 (配当込み)、先進国株式 : MSCIコクサイ・インデックス (円換算ベース)  
 新興国株式 : MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース)  
 日本債券 : NOMURA-BPI総合、先進国債券 : FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)  
新興国債券 : JPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円換算ベース)  
 上図は過去の実績であり、将来の投資成果を予測・保証するものではありません  
 (資料) Bloombergデータ、日本銀行統計より金融庁作成

# 資産形成 まとめ

## 短期資金

普通預金など

流動性と安全性の  
高いものがよい

## 中期資金

定期預金など

流動性、安全性、  
収益性ともに、**中程度**のもの

## 長期資金

株式、債券など

流動性が低くてよいので、  
ある程度**収益性の高いもの**が理想

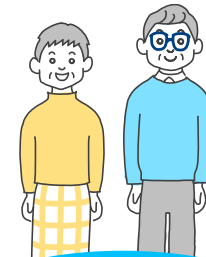
人生の  
三大支出



教育資金



住宅資金

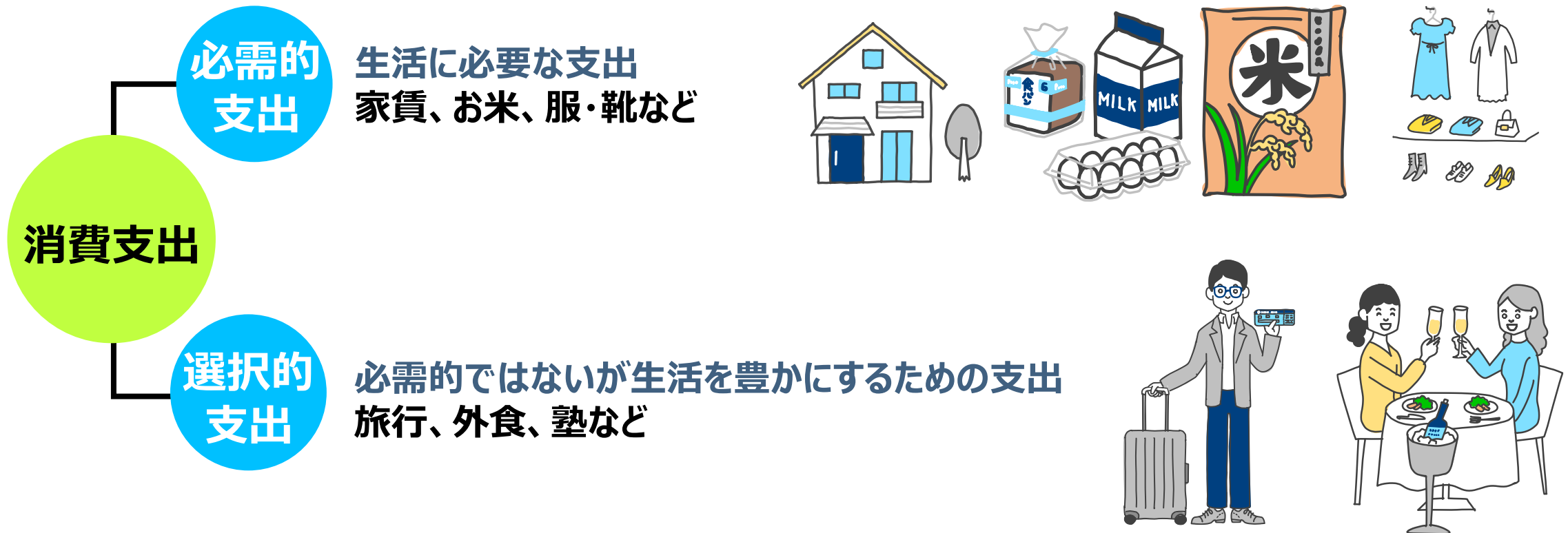


老後資金

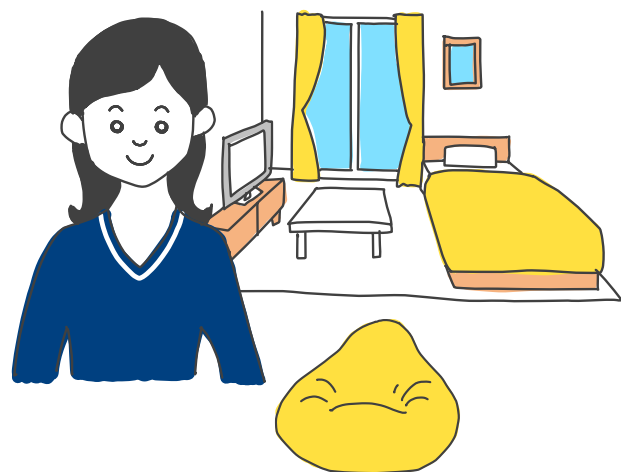
**短期・中期・長期**に適した金融商品を選び、貯蓄や運用などで着実に備えよう  
毎月、一定額を自動で積立するとよい

# 4. 消費支出の内訳を決める

貯蓄・投資額が決まったら、消費支出の内訳を必需的支出から考えます



# 最初に住居・家具費を決めよう



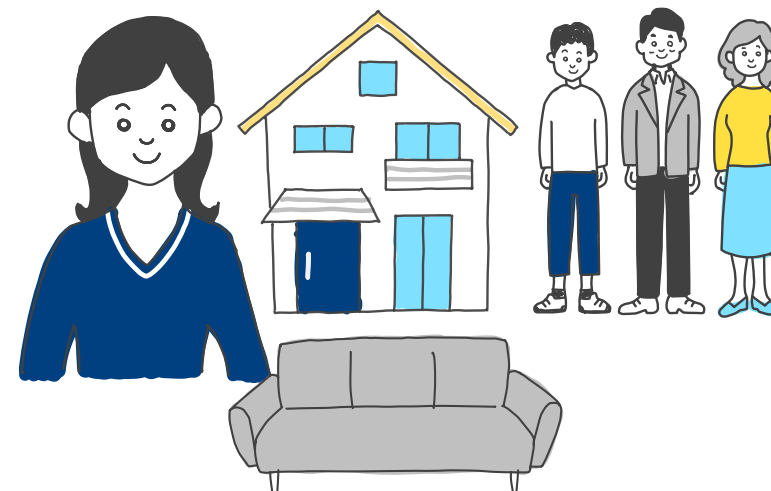
一人暮らし

住みたい地域の  
物件情報から設定



寮・社宅

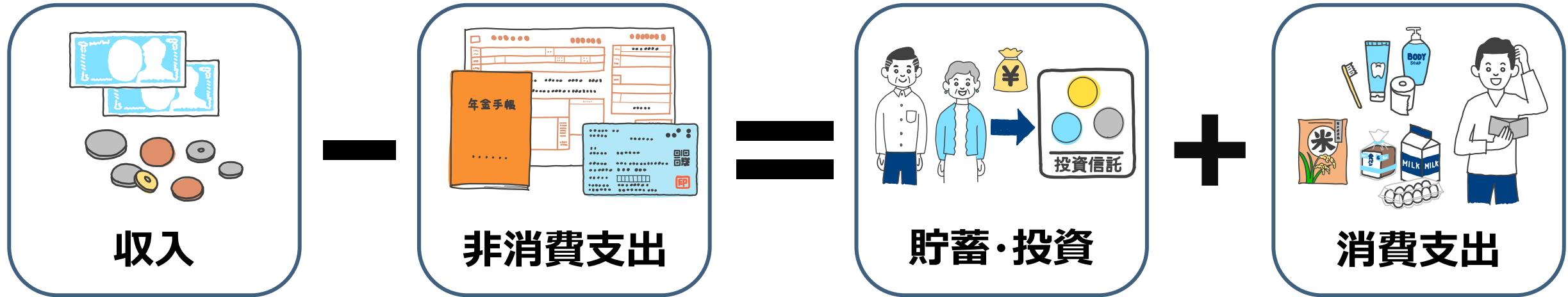
地域の家賃相場の  
半額に設定



実家暮らし

実家に支払う額を  
考えて設定

次に食費や光熱費などの必需的支出を決めたら  
続けて選択的支出についても考えよう



貯蓄も見直しながら、各費目の支出額を決めよう  
マネープランシートでは、差額が短期資金に振り分けられる



## 振り返りメモ

気付いたことや、学んだことをメモしよう

A large rectangular area with a light gray grid pattern, intended for taking notes. The grid is composed of small squares and is enclosed by a thin green border.